

(お知らせ) 令和6年度遺伝子組換えイネの第一種使用等(※) による栽培に関する実験計画書の公表及び説明会の開催

—「第1種使用規程承認組換え作物栽培実験指針」に基づいた情報提供です—

ポイント

- ・令和6年度に予定している遺伝子組換えイネ(スギ花粉ペプチド含有イネ)の隔離ほ場における栽培について、栽培実験計画書を公表します。
- ・スギ花粉ペプチド含有イネは、スギ花粉アレルギーに由来する7種類のT細胞エピトープを連結させた人工ペプチドを可食部(胚乳)に蓄積したイネです。
- ・令和6年5月10日(金曜日)に栽培実験計画についての説明会を開催します。

【栽培実験計画書の公表先】

農研機構ウェブページ URL :

<https://www.naro.go.jp/laboratory/nias/gmo/news/press/index.html>

【説明会について】(事前に参加申込みが必要です。)

開催日時 : 令和6年5月10日(金曜日) 13:00~15:20 (12:45 受付開始)

会場 : 茨城県つくば市観音台 2-1-2

農研機構観音台第2地区 観音台西第3本館 3階 大会議室

申込方法 : 4月26日(金曜日)12時までに下記 URL のフォームに、参加者の氏名、連絡先等をご連絡ください。申込みを受け付け次第、折り返し申込み受領のご連絡をさし上げます。

申込みフォーム : <https://forms.office.com/r/fgCzM6YKhr>

○4月26日(金曜日)16時までに申込み受領の連絡がない場合は、同日17時までにメールアドレス<kafun-rice@ml.affrc.go.jp>にご連絡ください。

○参加希望の方は必ず事前にお申し込みください。庁舎管理の都合上、事前申込みされていない方の入場はお断りいたします。付添の方も漏れなくお申し込みください。

※第一種使用等 : 「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」に基づいた開放系(本実験では隔離ほ場)での使用

問い合わせ先

栽培実験実施者 農研機構生物機能利用研究部門 所長 立石 剣

問い合わせ先 農研機構生物機能利用研究部門 研究推進室

メール : kafun-rice@ml.affrc.go.jp

本資料は農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。

※農研機構(のうけんきこう)は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。新聞、TV等の報道でも当機構の名称としては「農研機構」のご使用をお願い申し上げます。

参考資料

農研機構は、令和6年4月12日(金曜日)に、遺伝子組換えイネ(スギ花粉ペプチド含有イネ)の隔離ほ場における栽培に関する「栽培実験計画書」を公表しました。この栽培実験計画書は以下のとおりです。

栽培実験計画書

掲載ウェブページ URL

<https://www.naro.go.jp/laboratory/nias/gmo/news/press/index.html>

○スギ花粉ペプチド含有イネ (7Crp, *Oryza sativa* L.) (7Crp#10) の栽培(別紙)